2026年度（2027年3月期）
第2四半期　決算説明会

エクシオグループ株式会社（Code:1951）

2026年11月6日

Index

目次

1 2026年度　第2四半期業績
- 決算ハイライト ・・・ 4
- 業績ハイライト（受注高・売上高） ・・・ 5
- 業績ハイライト（営業利益） ・・・ 6
- 業績ハイライト（セグメント別状況） ・・・ 7
- 通期見通し ・・・ 8

2 セグメント別の取り組み 等
- 通信インフラ ・・・ 10
- 社会インフラ ・・・ 11
- システムソリューション ・・・ 12
- トピック ・・・ 13

3 株主還元
- 配当・自己株式取得 ・・・ 19

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

1

2026年度　第2四半期業績

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（1） 決算ハイライト

受注高・売上高・営業利益は過去最高を更新

全セグメントで増益。営業利益率は7.1%に改善

中間配当40円、自己株式取得を継続中、消却も実施

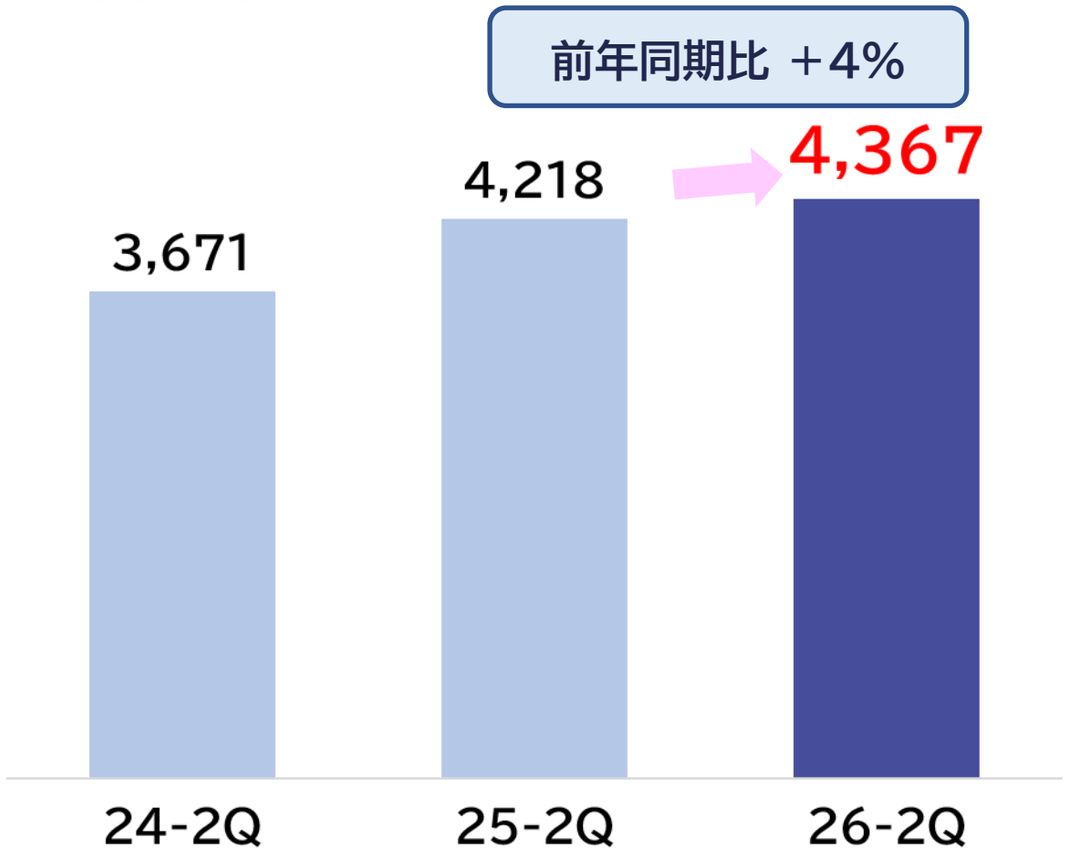
©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（2） 業績ハイライト（受注高・売上高）

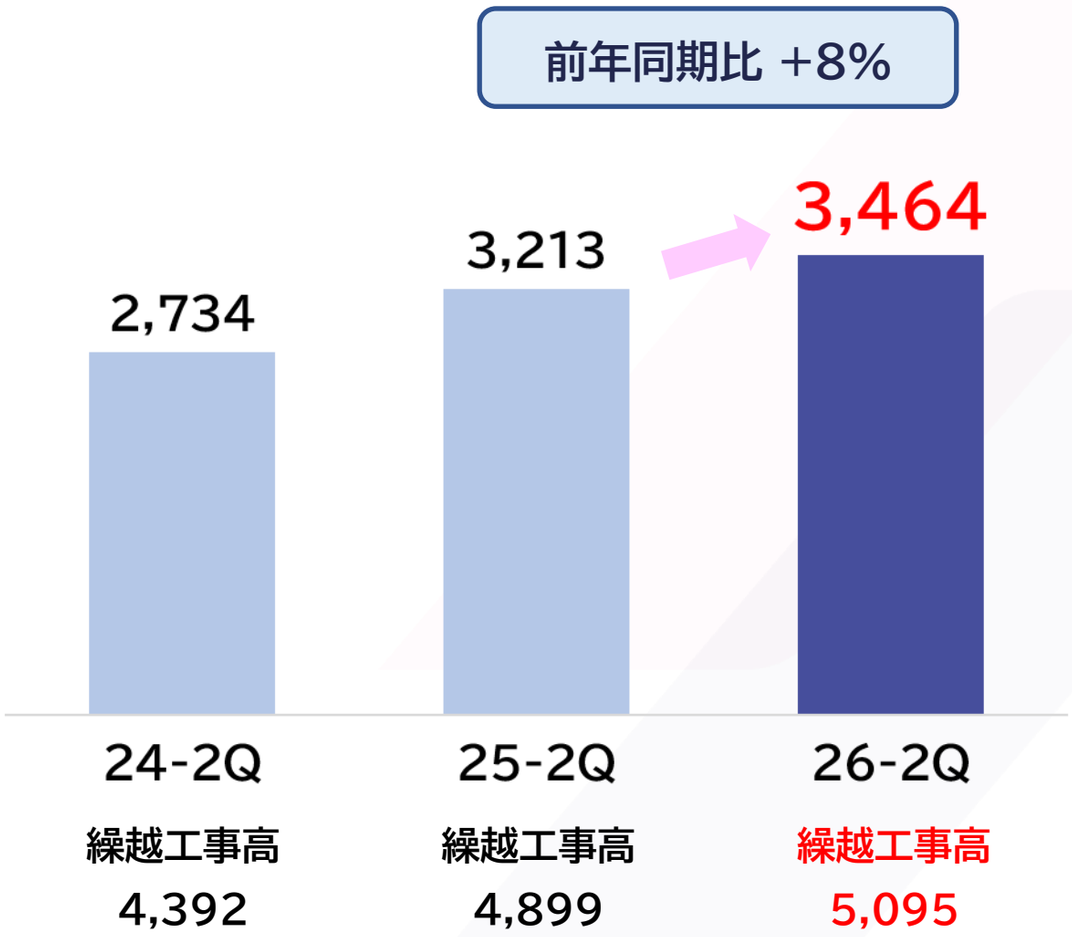
受注・売上とも対前年増で過去最高。繰越工事高も着実に増加

（単位：億円）

■ 受注高



■ 売上高



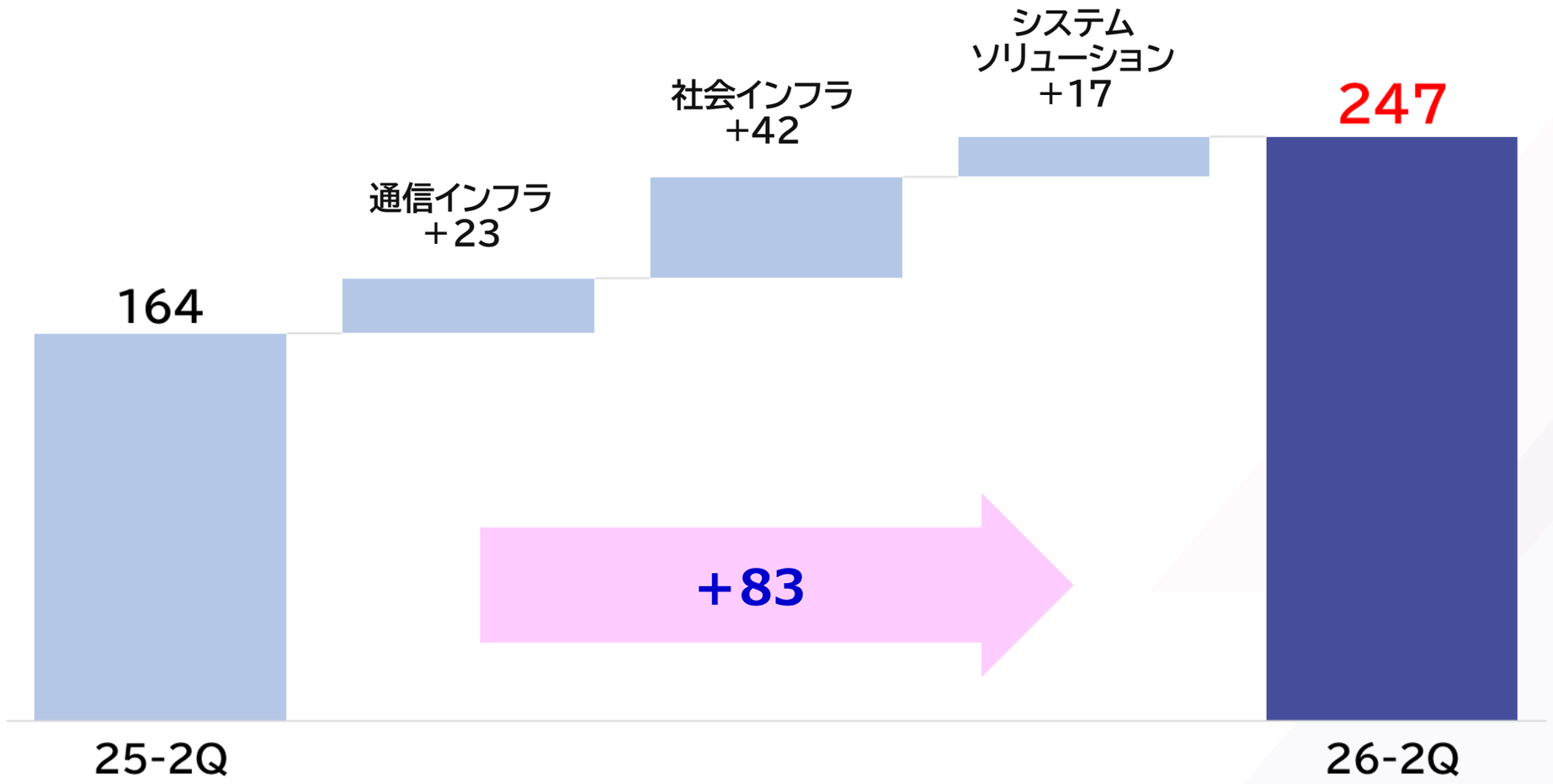
©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（3） 業績ハイライト（営業利益）

増収効果と各種効率化効果が進み採算性が向上、全セグメントで増益を達成

（単位：億円）

■ 営業利益

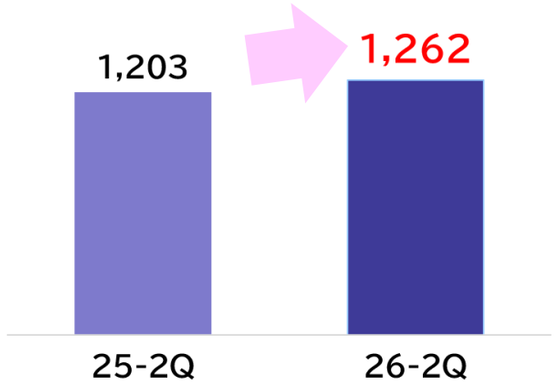
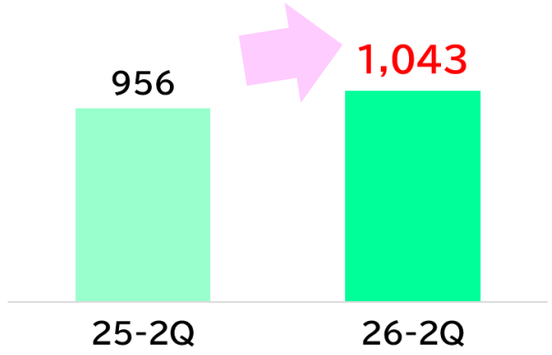
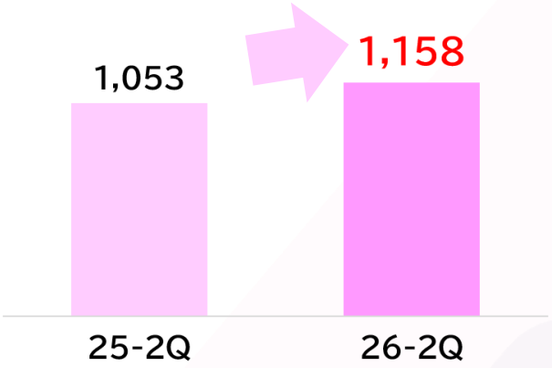
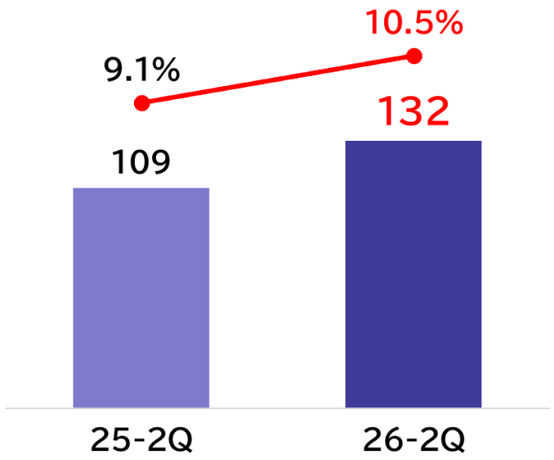
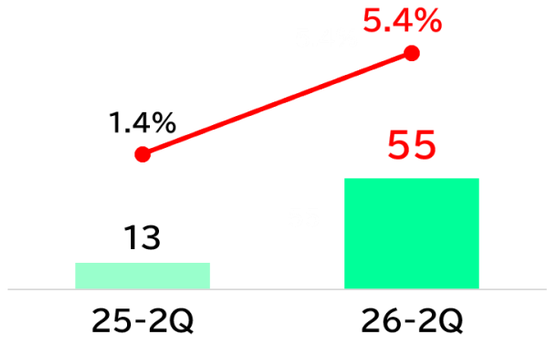
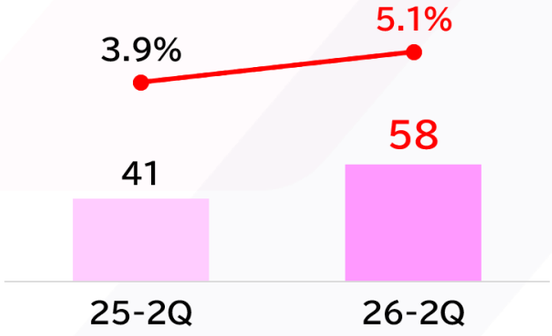


©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（4） 業績ハイライト（セグメント別状況）

（単位：億円）

中期経営計画で掲げたセグメント別戦略の効果が着実に進展

	通信インフラ	社会インフラ	システムソリューション
売上高			
セグメント利益（率）			
	アクセス・モバイルが好調	データセンター拡大により増収・増益	海外分野の採算改善が寄与

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（5） 通期見通し

2Q業績の進捗は順調で、通期業績の達成を目指す

（単位：億円）

	2025年度	2026年度	
	実績 A	通期計画 B	前期差 B−A
受注高	8,118	7,700	▲418
売上高	7,877	7,500	▲377
営業利益	(6.6%) 520	(7.5%) 560	(+0.9P) +40

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

2

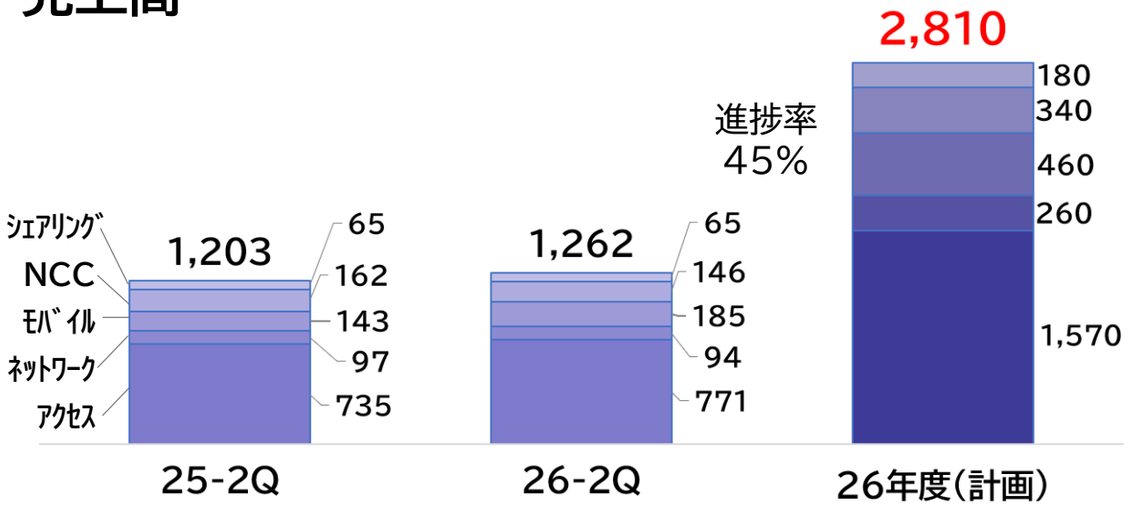
セグメント別の取り組み 等

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

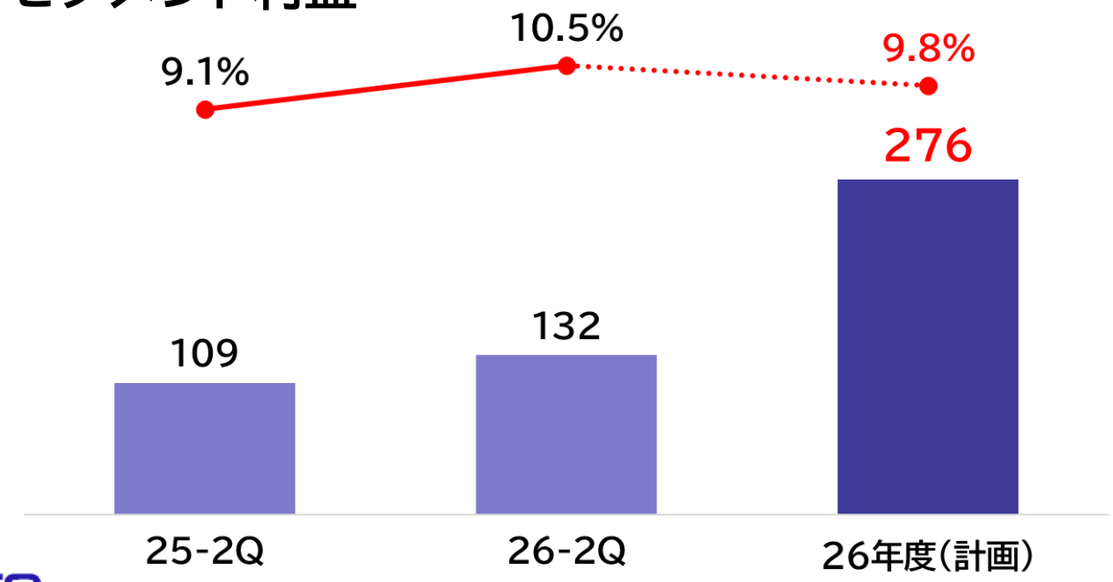
（1） 通信インフラ

（単位：億円）

■ 売上高



■ セグメント利益



2Q結果

- ドコモ様の継続的な品質改善により、モバイルが好調
- フレッツ光クロスの好調な販売に伴い、アクセスも対前年で増
- NCCは対前年で減も、楽天様からの受注は堅調

主な取り組み

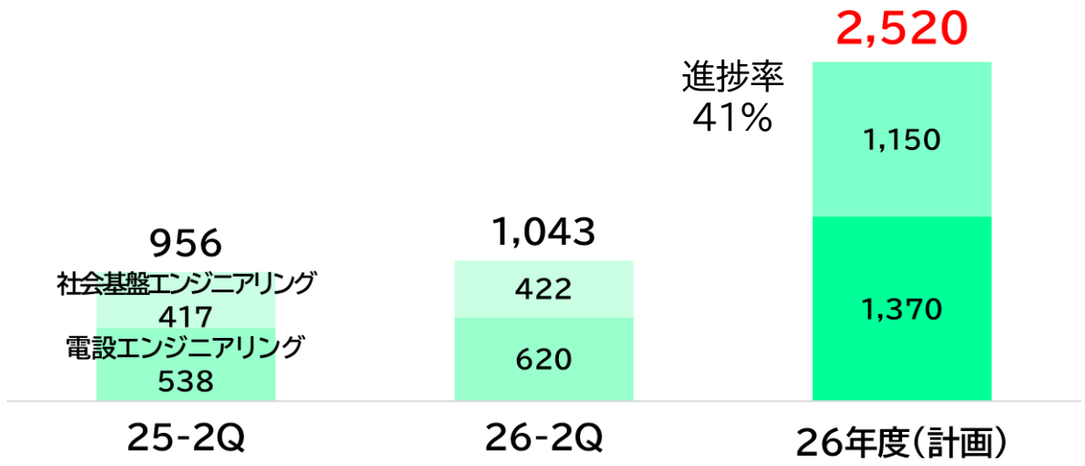
- 更なる効率化の追求
  （プロセス標準化・DX・業務集約等）
- エッジデータセンター等の成長分野へのリソースシフト
- 東南アジアにてシェアリング事業のさらなる拡大を推進

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

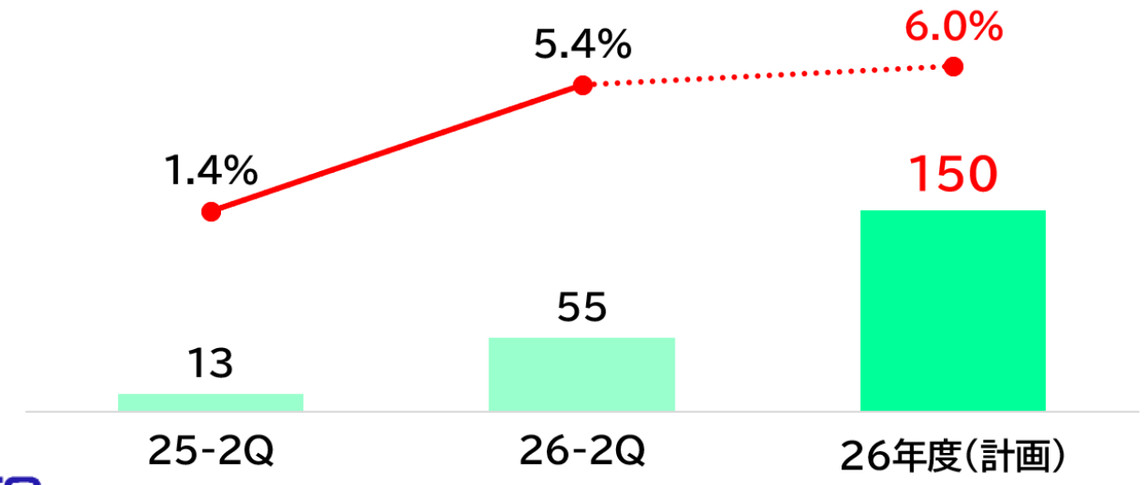
（2）社会インフラ

（単位：億円）

■ 売上高



■ セグメント利益



2Q結果

・継続的なデータセンターの引き合い、順調な工程進捗により受注・売上とも好調

・施工効率化による原価低減効果により利益率も改善

・採算重視の営業により利益は順調に推移

主な取り組み

・データセンター分野へのリソースシフトを強化

・電気・土木分野のオフショア化により効率化推進

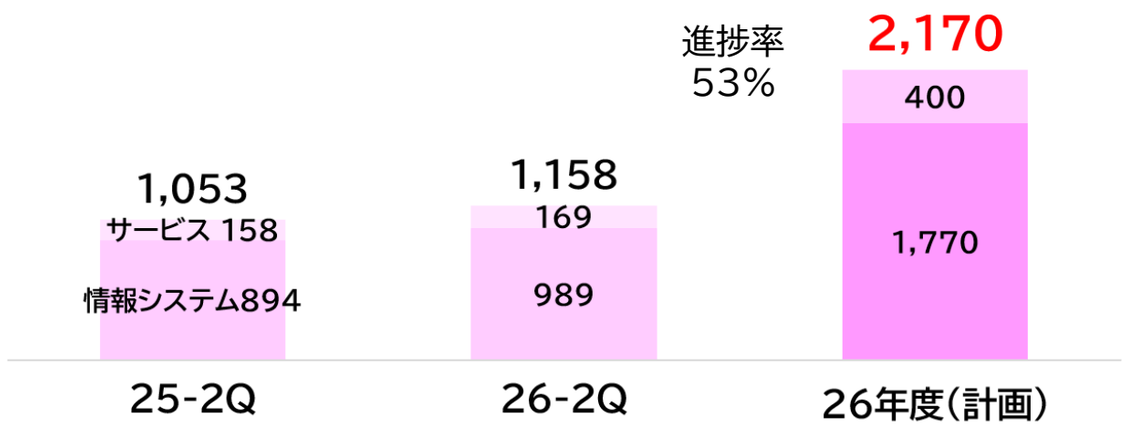
・電気分野における人財確保に向けたタスクフォース設置

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

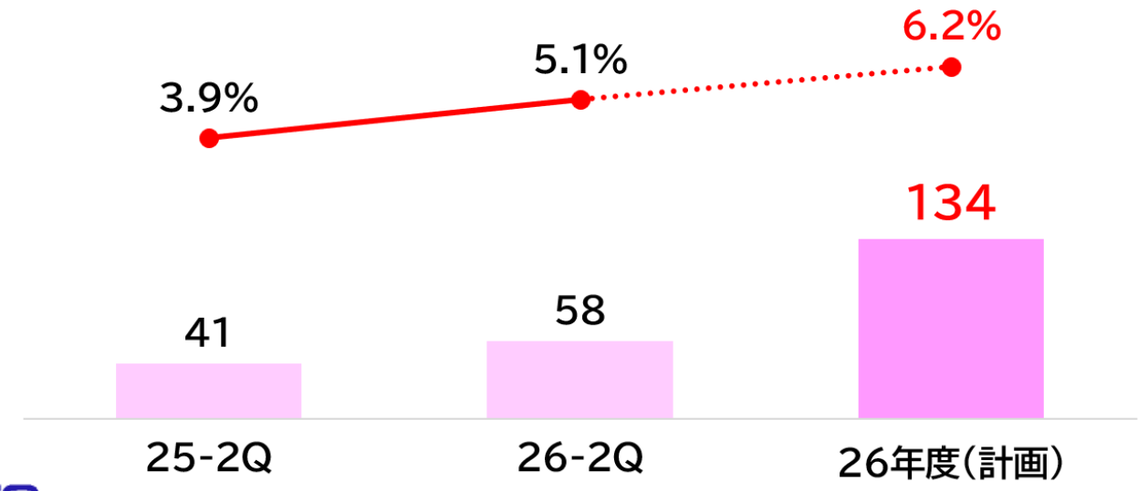
（3）システムソリューション

（単位：億円）

■ 売上高



■ セグメント利益



2Q結果

- 国内のNI事業および海外事業の好調により、前年のNext-GIGAの反動減を跳ね返し増収・増益
- 海外事業はこれまでの構造改革とITライフサイクルソリューションの引き合いにより、大幅な利益改善
- 計画外のNext-GIGA案件を今年度も受注

主な取り組み

- ゼロトラスト等を軸にセキュリティ商材の強化を推進
- オファリングサービスのソリューションメニューを拡充（ERP、ITライフサイクル、エッジデータセンター、鉄道DX 等）
- セグメントマネジメント強化によるグループ全体のクロスセル拡大

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（4）トピックス①　モバイルインフラシェアリングの事業拡大

米国DASベンダーである Andrew社と包括業務提携に合意
システム販売・シェアリングサービスの2つの事業を通じて、通信インフラ高度化と事業拡大を推進

※ DAS（Distributed Antenna System）：分散アンテナシステム

■ Andrew DASの特長 ｜オール光配線、無線機不要のデジタル方式→省電力・省スペース化を実現

消費電力 最大87%削減	空調電力量 最大75%改善	ラックスペース 65%削減	設置スペース 82%改善

※ Andrew社製品導入事例における効果

■ Andrewを活用した2つの事業モデル



©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

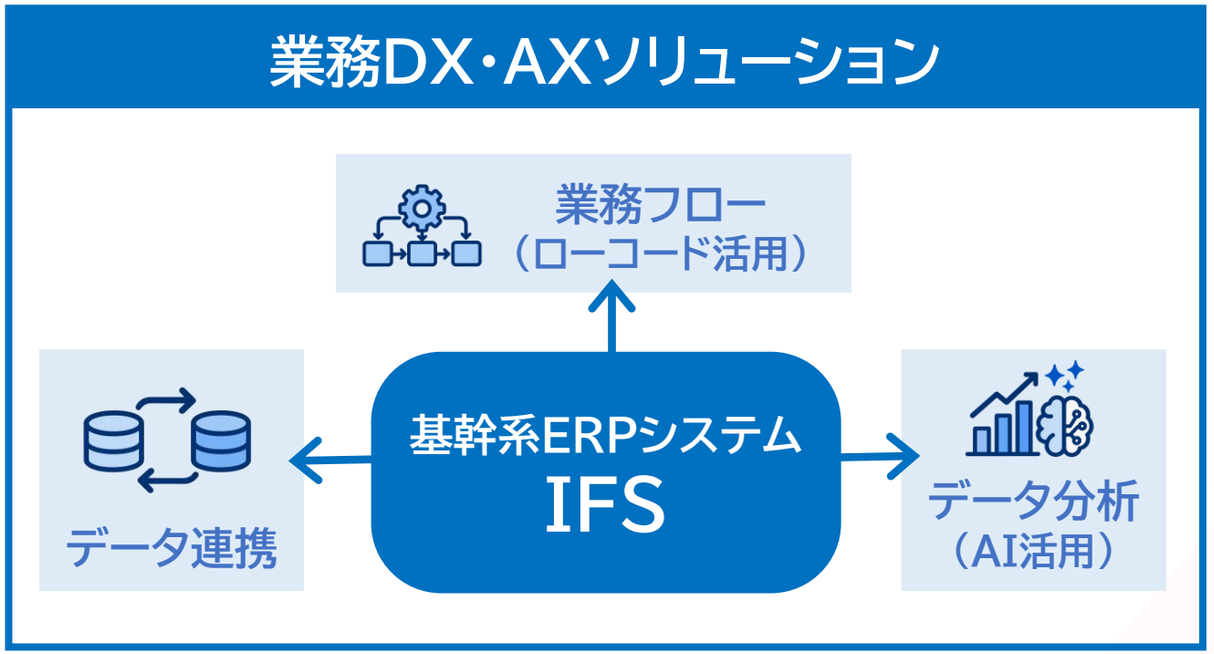
（4）トピックス②　業務DX・AXソリューション対応力の高度化

アルファスト社のM&Aにより、ERP（IFS）に関する人財・ノウハウを獲得
ERP（IFS）に本格参入、ローコード・データ分析にもサービスを拡充し、高付加価値サービスの提供を強化

重要な要素

- 業務コンサル
  上流PMの育成
- 戦略パートナーの開拓
- ITアーキテクト
  高度AIエンジニアの育成

業務DX・AXソリューション



オファリング
EX-LIGN

主要なお客様

- 製造業
- 建設業
- 社会
  インフラ

Alphast
ノウハウ
・IFS技術力
・上位パートナーランク
・海外拠点対応（米・タイ）

EXEO Digital Solutions
PM力
・開発リソース
・インフラ×DXソリューション
・営業力

IFSの特長

① 設備集約型産業に強い業種特化型ERP
② プロジェクト収支・サービスビジネス管理業務機能に強み
③ グローバル標準化と多拠点展開

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（4）トピックス③ ITライフサイクルソリューションの拡充

AI市場拡大における、お客様のGPUサーバやネットワーク機器等の需要に対し、投資効率化・資産の価値最大化を実現

■ 新古・中古のIT機器を、調達から整備・保守まで一貫で提供

① 機器調達	② 整備・検査	③ 販売
• 入替に伴う機器に加え、メーカー過剰在庫の新古品も買い取り	• 検査・データ消去 • 必要に応じ修理・構成変更	• ニーズに応じた機器を企業・販売パートナーへ

創出価値

- 納期短縮
- 導入コスト抑制
- 品質の確保
- IT資産の価値最大化
- 資源循環への貢献

■ エッジ系データセンターや第三者保守等の組み合わせによるトータルソリューションを実現



エッジ
データセンター
ソリューション

×

PROCURRI

リファービッシュ
GPUを販売

×

SAT

第三者保守
を提供

＝

AI基盤の
立ち上げから安定運用まで
ワンストップで支援

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（4）トピックス④　先進技術への挑戦：米国VC出資とAI活用R&D推進

外部連携による先進技術の探索と、自社R&Dによる現場への実装を両輪で推進
シリコンバレーでのCVC活動とR&D成果のグループ展開を通じ、新たな価値創造・事業拡大につなげる

外部連携 ｜ DNX Technology Ventures との協業

- 米国ベンチャーキャピタルへの出資
- 米国CVC拠点の確立
- EXEO Innovation Fundとのシナジー

自社R&D ｜ 現場での課題解消に向けた新技術の開発・実装

- 現地調査の3D化、及び設計図面の自動化
- NWカメラ×AIを活用した全社安全・品質の向上
- 推進工事の遠隔操作・自動化（AI制御）
- フィジカルAIの検証を開始

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（4）トピックス⑤　人財中心の経営の実践：グローバル人財の活用

ベトナムの大学・教育会社と連携し、教育と就業をつなぐ持続的な人財育成の仕組みづくりに着手

■ 取り組み概要

- **三者で協力覚書を締結**
  エクシオグループ、カントー大学、MINH TU社（2026年9月29日）

- **実務に即した専門講座**
  通信・社会インフラの知見を生かし、カントー大学の学生に提供

- **奨学金・研究・課外活動・社会貢献活動への支援**
  学生の成長とキャリア形成を後押し

- **就業機会の創出**
  日本・ベトナム間の継続的な人財交流を通じ、外国籍人財採用へ寄与



カントー大学で行われた調印式の様子

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

3

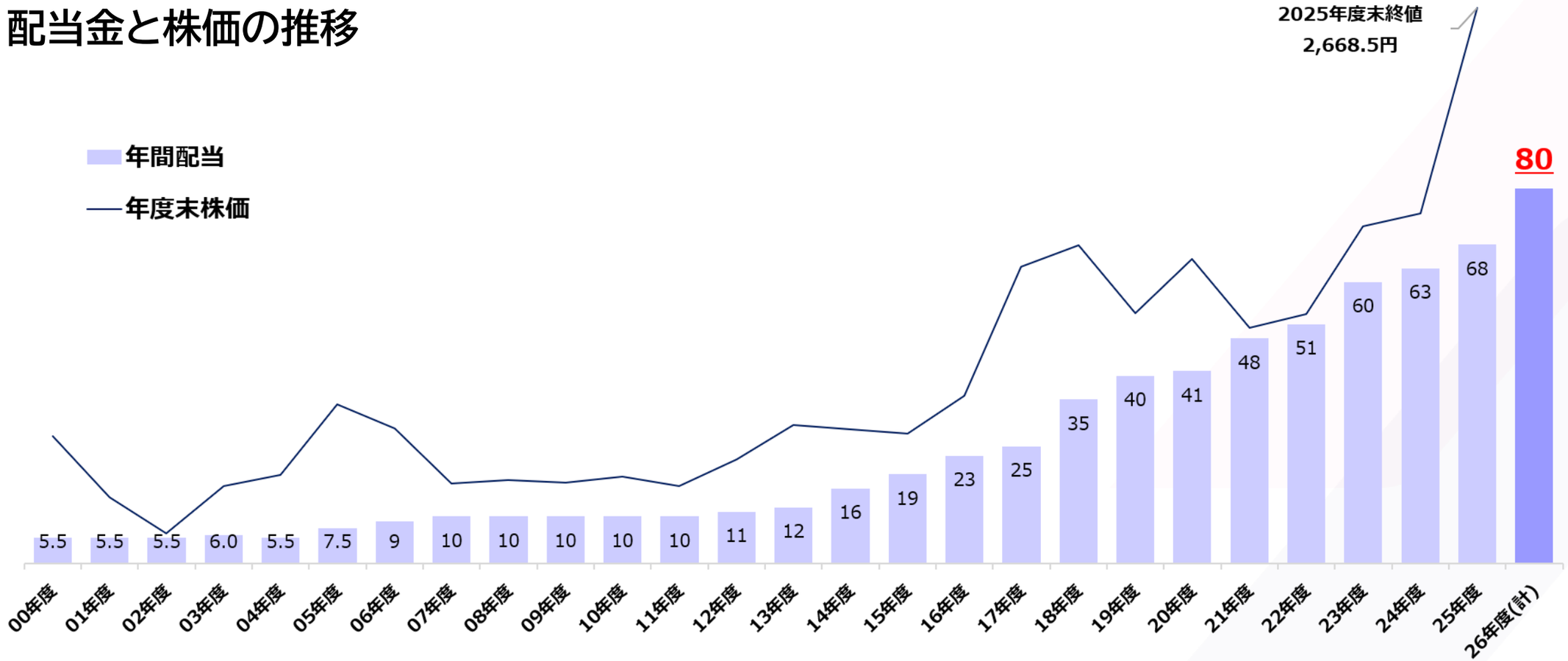
株主還元

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

（1） 配当・自己株式取得

26年度より配当方針をDOE4.5%基準に変更、15期連続増配予定（中間40円・年間80円）
自己株式の取得も総還元性向60%目途に継続的・機動的に実施
あわせて、11月末に自己株式200万株を消却

■ 配当金と株価の推移



※2024年4月1日付株式分割考慮後の数値

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において認識および入手している情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、経済情勢、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。また、当社は、本資料に含まれる情報が正確かつ完全であることを保証するものではなく、内容の誤りや欠落に関して一切の責任を負いません。

本資料は、当社および当社グループの事業内容を理解していただくための情報提供を目的として作成されたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。実際の投資に関する決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】
エクシオグループ株式会社
経営企画部　コーポレート・コミュニケーション室
　IR担当　谷口、小谷、榎本
TEL　03-5778-1073
Mail　exeo.ir@en2.exeo.co.jp

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングを
すべての未来へ

EXEO

©2026 EXEO Group, Inc. All Rights Reserved.